

絆だより

高齢社会を支える地域の絆づくりの会

第59号(4月号)

発行2021年4月1日

編集発行 代表 大井利雄

連絡先

EMAIL: t-ooi31@jcom.zaq.ne.jp

TEL:090-6949-8984

絆だより 発刊以来6年目を迎える 継続は力なり

大井利雄

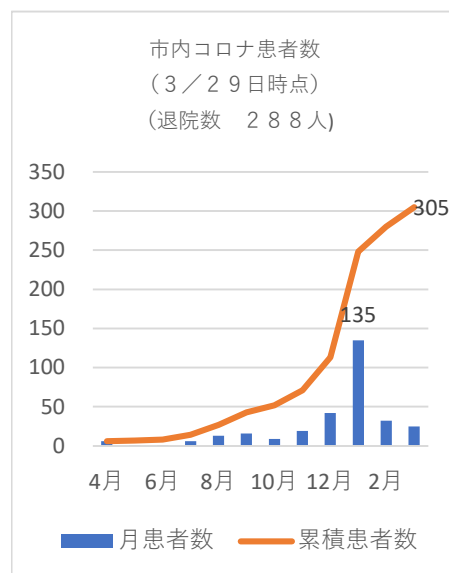
2016年6月に1号に発刊以来、毎月欠かさず発行を続けて、足かけ6年目を迎える。1号はささやかな1頁の内容だったが、会員の一言、開催情報、川柳は引き続いている。活動情報は市内活動団体の進展を示す一つのデータとなっている。縦割りの組織を超えた、情報の共有化と、活動団体へのエールを送りたい一念から続けている。字が小さい、読みにくいとの声も受けているが、できるだけ情報を満載し、そのとき見過ぎてしまってもデータとしての残し、後日トレンドを含めて活かせるよう願っている。カラー印刷発行はしませんが、カラーはHPでご覧になってください。

目まぐるしく進展する中で、ホットでリアルな情報をタイミングよく掘り報告することは容易ではないが、身の丈の力に応じた、限られた時間と資金のなかで今後も努力を続けたい。

機会あって、「絆の会」「絆だより」「ひらやの里」の活動調査を行っているが、「絆だより」に盛り込まれたこれまでの報告は項目数において700を越え、日頃の積み上げの貴重さを改めて感じている。まさに継続は力なりである。

読んでいただく読者に感謝するとともに、情報、ご要望、ご叱責をお待ちしています。

国立市内最大の会員数を有する、国立会東の会の田村会長は、次世代を支える子どもたちのイベントを強調されました。澤田さんのインクルーシブ教育を目指しても、子どもを見る視線に変わりはありません。次世代への責任を常に持ちたいと思う。



絆だより59号 目次

2頁	「ひらや照らす」を「ひらやの里」が継続運営	大井利雄
3頁	国立会東の会 国立市最大の会員数を誇る	大井利雄
4頁	インクルーシブ教育を目指して 国立市みんなの学校づくり市民プロジェクト代表	澤田宏子
5頁	国立第二小学校・複合公共施設設計概要について	大井利雄
6頁	【会員の声】終の棲家 国立が終焉の地となることを願う	宮武光吉
7頁	耳よりなコト 映画 「痛くない死に方」を見て ～在宅医療はこんなに苦しいのか!こんなに楽になるのか! 選択される方には必見です～	猪原康一郎
8頁	まちの活動通信から	宮武・大井
8頁	【語句説明】小規模多機能について	
8頁	絆の会3月度活動要点	
9頁	開催情報	
10頁	川柳	明石秀雄

「ひらや照らす」を「ひらやの里」が継続運営

大井利雄

ひらやの里は、議会承認「無償貸与」を得て、富士見台2丁目38番地の12の土地・建物について2017年7月1日～2021年3月31日までの契約を行った。

3月31日に契約が終了するが、

次のステップで、2021年4月以降の継続契約について審議が行われ議会の承認を得た。

- 1) ひらやの里への継続意思確認(条件付き継続受諾)
- 2) 2017年7月～2020年12月までの活動内容を高齢者支援課に提出
- 3) 介護保険運営協議会で書面審査(3月) 14人の委員が承認(意見 ①公募なしに引き続き任せることを、経緯を含めて広報していただきたい②利用されていない曜日について、使いたい団体を高齢者支援課が仲介して故人の意志を全うできるよう計って頂きたい)
- 4) 福祉保険委員会で審査・承認(石井・めぐみ議員質問)(3月17日)
- 5) 議会における「第31号議案財産の無償貸与について」承認(小浜議員質問)(3月24日)

提案資料として 高齢者支援課が用意した説明 資料48の一部を掲載する。(市HPで公開)

元気高齢者の居場所づくり事業(ひらや照らす) 運営事業者の継続について

市が平成27年10月に遺贈を受けた、富士見台2丁目38番地の12の土地・建物については、「老人福祉の目的に使用してほしい」との遺贈者の意思を踏まえ、公募による運営団体の選定、市議会による運営団体への無償貸与の議決を経た上で、平成29年7月から住民が主体となって多世代交流ができる場所「ひらや照らす」として活用されており、市では現在事業を運営している住民主体に引き続き事業に取り組んでいただきたいと考えております。

1. 事業概要

「ひらや照らす」運営に取り組む住民団体「ひらやの里」では、「ひらや照らす」の目指すところとして以下の目標を立てています。

- ① 誰もが一緒に楽しくくつろげる素敵な場とする。
- ② 我が家のように過ごせる雰囲気や地域住民が一体となってつくる場とする。
- ③ 高齢者に限らず、多世代の交流が可能な地域の場となる。

「ひらやの里」は、これらの目標の下に、介護保険法による介護予防・日常生活支援総合事業として「ひらや照らす」の活動に取り組み、令和2年度は百歳体操や認知症予防ゲーム、メモリーカフェなど様々なプログラムを実施しています(新型コロナウイルス感染症対策のためわらべうたなど一部事業は休止)。

貸付期間は、令和3年4月1日から令和6年3月31日までとします。

2. 運営状況は略

3. 運営費の補助

運営費については、介護保険事業の介護予防・日常生活支援総合事業における、住民主体による支援(通所型サービスB)として補助を行っています。(平成30年度から令和2年度 介護保険特別会計予算 款5地域支援事業費 項3介護予防・生活支援サービス事業費 目1サービス事業費 節19負担金、補助及び交付金から660千円を交付(平成29年度は同科目から570千円を交付))

4. 総括

1. 事業概要にあるように、高齢者に限らず多世代が対象となるプログラムが実施されており、地域住民がふらっと立ち寄ることのできる居場所として、国立市の地域包括ケアシステムの実現に寄与する活動拠点(サロン)が実現されています。その結果、口コミでの周知が広がり、利用者数のみならず、スタッフ数も平成30年4月の22人から、令和2年12月末時点で86人に増えています。

今後とも、ひらやの里は、近隣の方々の協力を得ながら、「ひらや照らす」の目標に向けた継続的な活動を実施し、市はその活動を支援していきます。

国立会東の会 国立市最大の会員数を誇る

大井利雄

国立会東の会の田村会長から東福祉館でお話を聞きました。田村会長は 5 代目の会長で東福祉館運営委員長として管理にもあたっています。中学校同級生の伊藤(元国立西の会会長)さんと一緒に伺いました。(3.23)

(地域)

東の 1 丁目～3 丁目を主に、全地域にいる会員数は 869 人と国立市の自治会・町内会 73 団体の中で最大の会員数である。かつて最高時は 1400 名を超えていたそうですが、高齢化で、減少している。回覧板を回せずやめる人も多い。一戸建ての方は入会多いが、集合住宅は小さな寄り合い単位となる傾向にある。

(歴史)

昭和 3 年 9 月 西・中・東地域の住民が国立会として発足
昭和 22 年 警防後援会に改称、昭和 23 年 国立会と改称
昭和 24 年 駅前の多摩信用金庫前に集会場完成
昭和 26 年 東・中・西支部と分離独立
昭和 28 年 西支部が国立西の会として独立
昭和 51 年 連合会組織として国立会東の会・国立会中の会と分離独立(連合会として、定期的情報交換、2 年おきに合同旅行)

(広報活動)

昭和 61 (1986) 年 独立 10 周年記念誌『あゆみ』発行
平成 19 (2007) 年 創立国立会東の会三十年誌 発行、部数 1200 部
『東の会かいらん』現在は毎月、回覧で配布、国立市HPにも掲載

(会費)

年間 500 円。かつて東の会が郵便局の簡易保険の団体加入して、手数料を受け取り、特別会計の源泉となった。昨年は、コロナで活動自粛もあり、会費は 0 円とした。

(納涼盆踊り)

昭和 33 年地域の有志が、明るいまち起こしということで、一橋大学ラクビー場で行った。あさひふれあい広場での盆踊りは平成 15 年から。舞台設営の足場など工夫しながら続けてきた。数年前、広場が使えなくなり実施できなくなったのは残念である

(役員及び委員)

会長、副会長 2 名、会計、監査、書記、部長(総務部・文化厚生部・環境部・防犯部・防災部)、理事若干名(以上役員で現在 25 名)、地区委員全員(76 地区、76 まつ名)定例会は、毎月、東福祉館で開催

(活動方針)

- ① 安心安全な地域づくり(東の会や国立市の催しについて、会員への周知を図り、会員が積極的に参加できるよう促し、地域の繋がりを広め強くする)
- ② 地域の交流活動を支援(住民同士が挨拶のできる繋がりを築くため、地区委員と会員が集まる懇談会や複数の地区が集まる合同茶話会などを開催)
- ③ 高齢化社会に見合った地域活動の推進(明るく楽しく地域活動を推し進めるため、若年層世帯から高齢者世帯までが参加できるイベント、催しを企画実施する)

(主な活動と共催)

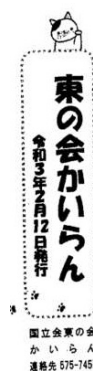
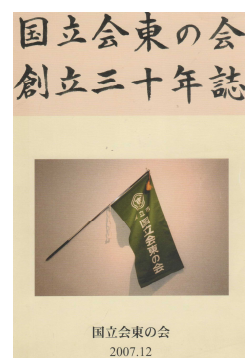
東福祉館文化祭、子ども秋祭り、親睦旅行、さくらフェスティバル防災部手伝い、国立消防発表会参加、大学通り清掃、三小地域交流会防犯パトロール、天満宮祭礼参加等

田村正良 会長のことは

安心安全、地域交流の活性化、活動推進と地域の魅力ある会を目指している。種々の催しもの周知徹底、高齢者世帯、若年世帯とともに、特に時代を背負うお子さん向けのイベントを充実させるべく東福祉館の大広間での子ども秋祭りを計画している。東福祉館の裏庭も活用したい。



東地区自治会分布



インクルーシブ教育*1 を目指して 国立市みんなの学校づくり市民プロジェクト代表、澤田宏子

2/26(金)に木村泰子先生のオンライン zoom 講演会 が開かれた。

主催は、尼崎市在住、ダウン症の小学生のAちゃんをもつママとその仲間たち。

Aちゃんは普通学級へ入学、2年生まで、ママが学校へ付き添った。担任と試行錯誤しながら、Aちゃんが学級で過ごせるような工夫を一緒に考えてきた。

尼崎市は、47万人都市、小学校41、中学校17という大都市であり、誰もが同じ場で一緒に学ぶインクルーシブ教育が行われず、分離教育だそう。その状況を変えたいと開かれた講演会。尼崎市長と、尼崎市教育長も参加した。その二人の参加に、ママ達は、どれだけ奮闘されたことだろうか。

木村先生への質問で、一番多いのは、

「みんな一緒に学ぶよりも、個別で教育を受ける方が、そのこどもは伸びるんじゃないか？」

木村先生の答え

「その個別で伸ばしたい学力とはどんな学力なのか？」

東大に受かるための学力？

10年後の未来は、私たち大人が経験してきた社会とは全く違う世の中になる。年功序列、終身雇用のない、世の中を生きていく。これが生き方の正解なんてない。隣にいる人との違いを知り、認め、育ち合いながら、自分らしく生きていくことが大事。」

残念ながら、木村先生と市長、教育長の対話は聞けなかった。講演を聞いて尼崎市の分離教育が少しでもみんな一緒に前へ進むことを願う。

3/4(金)の国立市議会での橋本教育次長の答弁を視聴した。

『フルインクルーシブ教育の理念の実現にむけての取り組み。保護者や本人の希望を最大限に尊重した就学先の決定。しょうがいの有無に関わらず誰もが地域の公立小中学校に在籍できる……。』

https://kunitachi-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=1884

(12:10~15:16)

この答弁を聞き安堵したのもつかの間、今年度の就学相談でも、保護者が希望する普通学級への就学を阻むように教育委員会の相談員から、「身の回りのことができないと普通学級には難しい、少人数で個別に対応してくれる支援級へ…」と誘導され、悩み涙する例を聞く。どうして普通学級に入るのにこんなに苦労しなければならないの？

国立市全ての学校がみんなの学校になる道のりはまだ遠い。

【余談】

2021年1月に「インクルーシブ公園を国立に！」

という要望書を「インクルーシブシティ国立を目指す会」が国立市に提出し、永見市長の施政方針にも盛り込まれました！



*1【語句説明】 インクルーシブ教育(包み込む教育)とは、障害の有無に関わらず誰もが同じ場で共に学び合う教育環境を提供され共生社会の土台をつくることです。

国立市は ソーシャルインクルージョン として次のように定義しています。

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という概念。

国立第二小学校・複合公共施設設計概要について

大井利雄

掲題の件について、3月に市民説明会があった。配布資料とHPから概要をまとめた。

国立市では、老朽化に伴う国立第二小学校の建替え事業を進めるなか周辺の公共施設の一体的な建て替え(複合化)を計画している。

第一期工事 2022/4～2024/3(校舎)
第二期工事 2024/4～2025/9頃(体育館)

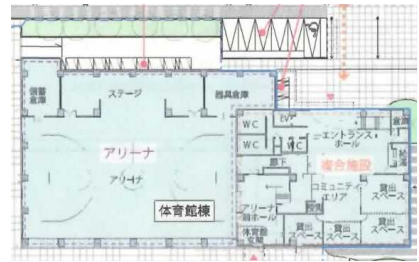
学校づくりの理念

1. 学びを生み出し共に育み学び合う →魅力的で多様な教育環境づくり
2. 自然とふれあい豊かな心を育てる →既存樹木を活かした緑に包まれた小学校
3. 世代を超えて伝統を未来へつなげる →シンボルツリー「二松」の保存
4. 絆を大切に地域と共に育つ →学校とコミュニティ施設と緑地広場を一体的に整備
5. いつでも誰でも安心安全に過ごせる →体育館棟を中心に避難所機能の充実

開催日	主な議題
2018年 7/27(第1回)	・連絡協議会の設置目的
8/7(第2回)	・先進事例視察
9/15(第3回)	・ワークショップ「二小の現状」
10/19(第4回)	・ワークショップ「学校づくりの理念の検討」
11/16(第5回)	・学校づくりの理念、コンセプトの決定 ・校舎配置の検討(模型を使用)
12/17(第6回)	・校舎配置の検討 ・計画目標、計画方針の検討
2019年 1/18(第7回)	・計画目標、計画方針の検討 ・ゾーニングの検討
2/7(第8回)	・計画目標、計画方針の検討 ・ワークショップ「平面計画(北・東側案)」
3/5(第9回)	・計画目標、計画方針の検討 ・平面計画の検討(模型を使用)
3/22(第10回)	・報告書(案)の確認

マスタープラン連絡協議会

建設にあたっては、マスタープラン連絡協議会(委員15名、座長国立市第二小:小林校長)で、学校関係者や地域の方々、行政で意見交換を行った。市ではこの議論の報告を受けて新しい施設の基本構想として平成31年3月に「国立第二小学校改築マスタープラン」を策定した。複数の公共施設をまとめて整備することにより、機能の共有による多機能化・高機能化や、施設利用者同士の交流促進、地域の拠点形成を図ることができる。

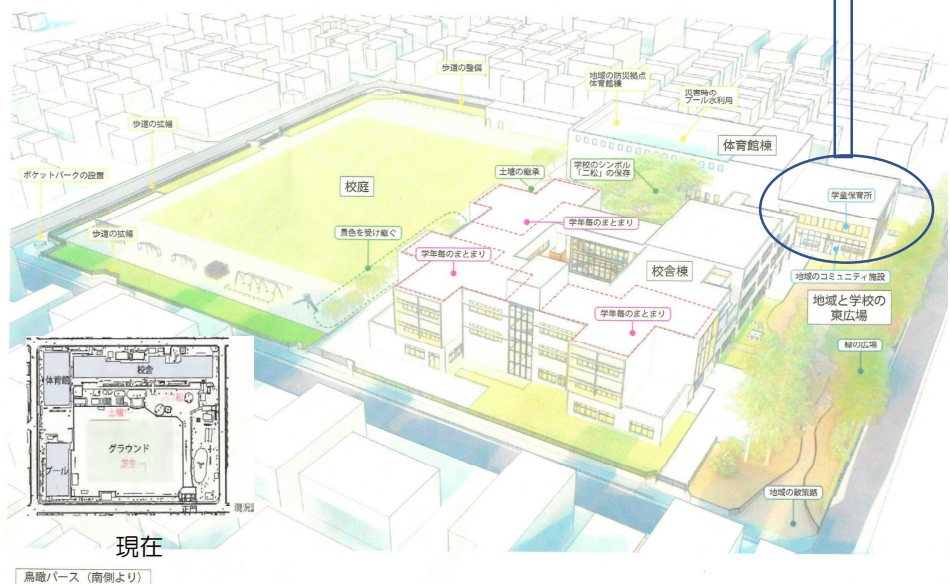


1階 複合施設
2階 学童保育所

今回、登所児童の安全確保のため西学童保育所の機能の一部(※)と、地域に開かれた学校や多世代交流の具現化による地域活性化のため西福祉館を移転し、二小敷地内に複合施設棟を建設する。

(※) 複合施設に新設する学童保育所は、二小児童が対象である。

「学校づくりの理念と5つのコンセプト」を実現する工夫(イメージ図)



工事工程計画

2021年 (R3) 6月	2022年 (R4) 3月	2023年 (R5) 3月	2024年 (R6) 3月	2025年 (R7) 3月	2026年 (R8) 3月
基礎設計 (10ヶ月)	Phase_1 Phase_2 1期工事(校舎) (23ヶ月)	1期工事(校舎)	Phase_3 Phase_4 引越 既存校舎解体	Phase_5 Phase_6 2期工事(体育館) (17ヶ月)	工事完了

【会員の声】 終の棲家 国立が終焉の地となることを願う

宮武光吉

(生まれは奉天)

生まれは、旧満州の奉天市です。日中戦争が始まったころでしたが、臆気ながら育った町の印象は、整然とした街路に並ぶ鉄筋コンクリートの建物。住んでいた社宅は、セントラル・ヒーティング、水洗トイレが整った煉瓦造りの 5 階建てでした。約 60 年後に訪問した中国瀋陽市（現在の名称）には、大通りに昔の建物が随分残されていて「偽満州国〇〇銀行跡」といったプレートが埋め込まれていました。元の千代田小学校は私の通った幼稚園があった所でしたが、今は「育成学校」と称して英才教育を外国語で実施し、卒業生の多くが日本の有名校にも進学していることを、外堀に掲げていました。



奉天（瀋陽）の位置

(引き揚げ四国へ、転居を繰り返す)

そんな土地で 6 歳まで過ごしてから、敗戦二年前に四国香川の祖父の故郷に引き揚げて、井戸水を汲み上げ、冬の暖房は火鉢のみ、外便所は汲み取り式という田舎生活を約 10 年過ごしました。

中 3 の夏に立川に引っ越し、立川三中を卒業して、高校・大学に進学し、その間、杉並に 7 年間住みました。就職・結婚してからは、横浜、東京、千葉、山形と転居を数回重ね、国分寺に家を建てて 30 年過ごした後、国立に移ってから早や 13 年経ちました。最近、ある届出調査の中で「出身地」という項目があり、その定義として「高校などを卒業する前までに過ごした期間が最も長い都道府県(国)名」とあるのを見て、出身地が、香川県であることを再認識しました。これまでに 13 回転居を繰り返し、「終の棲家」に辿り着いたのが今の自分たちの姿ではないかと思っています。

今の国立は、自然環境、社会資源、便利さや住みやすさなどから見て、これまで住んできた街の中で、抜群だと思えます

(国立に転居して心配なこと)

しかし、将来的なことを考えると、最近見聞きしたことで不安な点がいくつかあります。

その一つは、最近になって代替わりした家がどんどん壊されて新しくなっていますが、ほとんどが細分化され、それまであった庭がなくなり、大きな樹木が切り倒されていることです。このことは、とりもなおさず市内の緑化率が、次第に減少していることだと思えます。

次は「南北」問題で、以前は「北」地区は中央線により分断され「国立のチベット」と自称していましたが、中央線の高架化によりある程度は解消されたと思われ

しかし、南の中でも「泉」地区は、まさに「陸の孤島」状態になっているのではないのでしょうか。一体この地区の都市計画はどのようになっている、どのように進められているのかは分かりませんが、バス路線一つをみても一時間に 1, 2 本しか走っておらず、近隣には店舗や公園もあまり見当たらず、周辺はインター近くの流通基地となり、大型トラックが走り回っているのでは、団地の中で巣ごもり状態が日常化しているのではないかと想像されます。

(特徴を生かし、国立が持続可能まちとなることを願う)

国立市は、東、中、西そして富士見台地区が、学園都市から文教地区そして商業・住宅地区として発展し、父祖伝来の土地と伝統を守っている谷保地区（南部地域）とが共存し、これまで相互に補完して発展してきましたが、このような特徴を失わずに持続可能なまちになることを願い、「終の棲家」が良き「終焉の地」となることを望んでいる、後期高齢者です。

耳よりなコト 映画 「痛くない死に方」を見て

～在宅医療はこんなに苦しいのか!こんなに楽になるのか! 選択される方には必見です～ 猪原康一郎

タイトルに惹かれて見に行きました。というのも、亡母の末期、病院の担当医からショックな言動を受けたことがトラウマになっていたためです。

(あらすじ)

痛くない治療をと在宅医療を選択したはずの末期がんの患者が思いのほか苦しみ、苦しい最期を迎えた。主人公は患者家族から怒号の叱責を受ける。その後、在宅医は日々の仕事に追われた末、離婚し、家庭崩壊する。そんな折、先輩医師よりカルテではなく「人間を見よ」と指摘され変貌する。インタビューに答えた製作の動機を「60才半ばを過ぎ自分はどのような死に方をしたいのか?を問い続けていたことがある」と高橋監督は言う。



(感想)

- ①これを見て在宅医療選択の資格は自分にあるのだろうか?という事をまず考えた。日頃、介護を頼みうる信頼し合える家庭関係(親子も夫婦など)が築けているのか?と自問自答しました。
- ②思い出すのは亡き母が寝たきりで医療を受けていた時、やすらかな末期をと担当医にお願いした返答が「それをご希望なら(モルヒネで)ねむらせるだけですょ」この映画の終わり方と何と違うのか。
- ③末期におけるリアルな医療知識が得られたためになりました。
- 死に際は暴れる場合がママある、驚くなかれ。腹水は早々抜くなかれ、枯れるのをマテという。
- ④この映画で随所にテロップアップされる川柳(下記抜粋)に心やわらぐ。
- ⑤監督は国立ゆかりの高橋伴明さん(女優高橋恵子さんの夫)、在宅を考えておられる方には一見の価値あります。

枯れるまで 抜かずほっとけ 腹水を	年金が 延命はたまた 目的は	踏み潰す 紙のおむつが 自尊心	死の恐怖 拭いきれない 強がりも	邪魔をする 遠くの親戚 尊厳を
-------------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	-----------------------

【語句説明】小規模多機能について

大井利雄

小規模多機能居宅介護とは 2006 年の 4 月の介護保険法の改正で新しく新設された在宅介護サービスの一つ。主に認知症の人たちが対象で、『通い』を中心として、要介護者の様態や希望に応じて、随時、『訪問』や『泊り』を組み合わせることで、在宅生活を継続的に支援する(厚生労働省)。国立市には、中二丁目のウェルケアと矢川駅近くのオリーブの二施設がある。新たに 2020 年 7 月、東二丁目寄贈地に医療法人社団国立あおやぎ会設の設置が承認された。

『認知症やひとり暮らしを支える在宅ケア「小規模多機能」』土本亜理子(岩波書店)に付記

絆の会3月度活動要点

大井利雄

- 1) 絆だより58号: 550部印刷 57号: ひらや照らすで60部が2週間ではけた。
 - 2) 4月以降随時取材予定の確認(自治会、NPO 団体、学校関係)
 - 3) アーバンハウジング調査研究中間報告 原稿確認、変更折込 17日に提出した。
- 次回定例会 4月10日(土) 10:00~12:00 ひらや照らす

まちの活動通信から

文責 宮武・大井

<p>まごころ 3月号 No.290</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ～コロナ禍での助け合い、支えあい～ 応援パック、ひとこえプロジェクト 2. 歳末たすけあい運動募金報告 総額 791,287 円(2.19 現在) 3. 手話講習会受講生募集 4. 第 10 期 ボランティア運営委員の募集 5. くにたち社協ひきこもり支援情報(「当事者」「家族」「CSW」の協力) 6. CSW、SNS 始めた(公式「Instagram」と「official LINE」の運用)
<p>東くにつこ通信 第 12 号 3.5 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動の呼びかけと活動紹介 2. グループ探訪 ふれあい体操 東福祉館 毎週金曜日午後 13:30～15:00 3. 感染予防×フレイル予防、簡単 筋力チェック&筋トレ 紹介 4. 地域のイベント(介護予防)、居場所紹介(東福祉館、ペンぎんサロン、他)
<p>ほかほか 子育てひろば No183 4.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミニイベント(①ひろばミニ説明会:4.1,2,23)、②ひろば助産師相談:4.21③抱っこひもミニ講座 4.19 2. 「出張子育てひろば 北地域」北市民プラザ 4.22
<p>くにたちプラムジャム通信 2021vol.21 3 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. NPO 法人子ども大学くにたち 紹介 子どもたちから、はじめる、ひろがる SDGs 2. 会員紹介 ロザルパの他の石井イタリア語、オッチアート教室、まちかどダンス教室 3. 協働まちづくりの手引書 一富士見台地域重点まちづくり構想一 4. ふじみなヒト・コト まちライブラリー@くにたちダイヤ街 林大樹さん
<p>「在宅ケアを考える会」通信 No69 3.23 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「みんなで知りたい、看護小規模多機能」第 2 回学習会 介護体験の話、新座市の NPO 「くらしネット・えん」の事例紹介などから小規模多機能の理解を深めた。 2. まどか、ウェルケア、オリーブの三つを比較し感想。疑問を出し合った。 3. グループホームと小規模多機能との選択、自宅か施設か、本人の意思決定も大事 4. 介護保険ができて 20 年、国の方針は在宅生活を困難にしていないか。介護保険外での自費サービスは大きな費用がかかる。
<p>ここすき！通信 2020 年度 3 号 3 月発行 社会福祉法人、くにたち 子どもの夢・未来事業団</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2021 年 4 月矢川保育園新園開園 運営主体がくにたち子どもの夢・未来事業団に移行する 2. 矢川商店街の紹介 自家焙煎珈琲&カフェ「レノンコーヒー」2004 年にオープン、店主赤坂さんは矢川商店街、副会長さん 3. 「ここすき！の活動の流れをご紹介」1 歳児の子ども達が週 2 回通所
<p>公利連だより No6 3. 29 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調整会の様子 ホールはやや重なりが多く、活動する団体が戻ってきた感じがする 2. これからの公民館利用者連絡会 昨年の総会は紙面で、顔を合わせることなく公利連の活動に影響を及ぼしている。コロナ禍で公民館での活動団体が減少、公利連加入団体も 50 数団体と更に減少。調整会や、公民館の利用の仕方や、利用者の応分の役割分担について公民館に一定の方向性を提示してもらおうようお願いしている。 3. 公利連は緊急事態に直面しています！
<p>国立福祉会館福祉センター なごみ No.712 4.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 武蔵野自然を♪武蔵国分寺公園のお散歩コース紹介 2. コロナ禍での助け合い、支え合い 3. 四月のうた(短歌)、春のミジクラシックライブ開催:4.26(月)(午前の部、午後の部)
<p>ひらや照らす通信 4月号 4.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の思い出(矢澤さん、松本さん)春は出会いも お別れも 2. イベント紹介 庄ちゃん句会「声に出そう!! 言葉にしよう!!」 3. ひらや照らす人 榊原さん そう思うようには死ねない。岩絵の具で描いた貝児が秀悦
<p>みどり会会報 第 233 号 4.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会は書面で行う。会員数 189 世帯(1 世帯減少)、運営会開催 4 回 2. 運営会での議題 コロナで多人数参加行事の中止のことでイベント活動の協議実施せず 北大通り清掃、コロナの影響で参加者増えた(380 名→485 名) 3. 令和 3 年度の活動 コロナ次第で中止する可能性が高いとの報告 4 月は消火訓練、昭和記念公園散策、写真趣味の会、盆太鼓の練習など。第 1 回運営委員会は 4/11 4. 令和 3 年度 予算 イベント収入不確定のため計上せず
<p>中の会通信 第 30 号 4.1 発行</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画事業係 ①クリスマスリースを作りました②ちぎり絵に挑戦③懐かしい中地区の話を車座になって 5 人の方から聞き入りました。 2. 環境美化係 新しい清掃用具箱。 3. 自主防災部 地震への備え③(火災予防編)
<p>ボランティアセンター 通信 RABBIT VOL.132 4,5 月号</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア入門講座、ボランティアスキルアップ講座 2. 『イチから知る 災害ボランティア』実施報告 3. ボランティアセンターの情報発信について、令和 2 年度福祉学習報告 など

**情報【 A:カフェ B:交流会(懇親会・食事会・手芸など)、B2 交流会(多文化共生、多世代)
C:交流会(介護・認知症・引きこもり) D:情報交換 E:健康他、F:講演会・講座・研修・映画会】**
開催実施・内容は、コロナ防止対応など都合により変わりますので、事前にご確認ください。

区分	日	時間	題目・内容	主催	場所	連絡先/備考
C	土日祝日を除き随時	09:00~18:00	お悩み相談会	不登校支援「ゆとりある」会	Zoom	✉ yutreal.info@gmail.com ☎ 070-8327-2673
C	4/01(木)	10:00~11:30	情報交換	四丁目の集い	グランソシェ(E)集会所	野村:090-9648-8497
E	4/08~毎木曜日	10:00~	湯ったりウォーキング	地域包括支援センター	東地域防災センター、鳩の湯	地域包括支援センター:576-2123 市内在住 65 歳以上の方
B, C	4/01~毎週木~土曜	10:00~16:00	子どもから高齢者多世代交流の場	ひらやの里	ひらや照らす富士見台 2	042-800-1661 プログラムにより実費あり
B, C, E	4/02(金)~毎金曜日	10:00~15:00	南区ふれあいカフェ 13 時~いきいき百歳体操	南区公会堂自治会	南区公会堂	573-8880 南区公会堂、南区自治会会員参加費無料
F	4/02(金)~毎金曜日	10:00~12:00	わあーい親子リズムによついで	新婦人の会	福祉会館 4 階 大ホール	浜 574-0661、会費 100 円 (おやつ代)
E	4/02(金)~	午前の部、午後の部、時間帯選択	ご近所さんでレッツ・ゴー!	地域包括支援センター	福祉会館、西福祉館など 6 か所	地域包括支援センター:576-2123 毎金曜 参加無料 65 歳以上、少人数申し込み制
B, C	4/03(土)~毎火土曜	13:30~15:30	ぺんぎんカフェ	ぺんぎんサロン	東 3-11-12-103	鈴木:505-4140 参加費 300 円(初回無料)
C	4/3(土)	13:30~16:00	分かち合い、支え合い、学びあいの場	ひきこもり家族会ここから	くにたち福祉会館	社協 042-580-0294 参加費 500 円 次回 5/?
C, D	4/04(日)中止	14:00~15:30	ふらっとカフェ:多世代交流の居場所	向こう三軒両隣@くにたち	ぺんぎんサロン(東 3)	吉田:080-1136-6036 参加自由 5 月未定 飲み物代 100 円
C	4/04(日)	13:30~15:30	認知症カフェ	国立市在宅療養相談窓口(注)	リープ 1 階地域交流センター	国立市在宅療養相談窓口:042-569-6213 当事者関係のみ
注:共催:東京都地域連携型認知症疾患医療センター/医療法人社団つくし会新田クリニック/国立市						
C, E	4/06(土)	14:00~16:00	ほっとサロン	すてつき	ひらや照らす	すてつき事務所 576-3206 会費 200 円 次回 5/1
C	4/08(木)	14:30~16:00	親の居場所	ひきこもり家族会ここから	ひらや照らす	社協 042-580-0294 次回 5/13
B	4/09(金)	12:30~15:30	おしゃべり会	中の会	中地域防災センター	吉田:090-3508-3641、
E	4/09(金)第 2,4 金曜	10:00~12:00	「いい湯だな」軽い体操と入浴	ゆかいゆ会	東都営住宅集会所、鳩の湯	包括福祉会館内窓口 042-580-1294 市内在住 65 歳以上
C	4/09(金)4/30(金)	13:00~16:00	引きこもり当事者の会	国立市社協	福祉会館 3 階 和室	社協 CSW(山口・飯田) 580-0294 5 月は 14 日(金)23 日
C, D	4/10(土)	10:00~12:00	月例	絆の会	ひらや照らす	大井:090-6949-8984
C	4/10(土)	13:00~14:15	メモリーカフェ	NPO パーソン・センタード・ケアを考える会	ひらや照らす	村田:080-2025-7416、参加費 100 円、要事前予約次回 5/8
B	4/10(土)	13:00~14:30	懇親会	難病障がい者と家族の会	ひらや照らす	佐伯:090-2163-7609
C, D	4/10(土)	16:30~18:30	運営会議	ひらやの里	ひらや照らす	大井:090-6949-8984
D	4/11(日)	14:00~15:00	情報交換	なかなかいい会	中地域防災センター	社会福祉協議会:飯田 580-0294 たまご食堂実施後
C	4/14(水)	13:00~16:00	定例会	在宅ケアを考える会	福祉会館 中会議室	山本:575-9219 次回 5/20
B2, F	4/15(木)	19:00~21:00	ジャフェームさんがバングレデシュを紹介	くにたち国際友好会 WING	会員個室 ZOOM による交流	和田:090-3497-2110、会員限定、非会員 300 円
C	4/16(金)第 3 金曜日	18:30~20:00	くにたち依存症を考える会 輪ち逢い	くにたち依存症を考える会	福祉会館 3F 和室	担当:宮内 080-4142-4043、次回 5/21
B	4/20(火)毎第 3 火曜	13:00~16:00	交流会	遊楽会	中平地域防災センター	高橋:575-5272、

区分	日	時間	題目・内容	主催	場所	連絡先／備考
C, D	4/24(土)	16:30~18:30	連絡会	ひらやの里	ひらや照らす	ひらや照らす 042-800-1661
C	4/26(月)	13:00~16:00	介護者家族の集い&俳句の会	えんがわ・あい	福祉会館 3F	矢崎・田村：577-4122 参加費 200 円、参加自由
B, C	05/07(金)	13:15~16:00	くにたち地域ふれあいの会	国立人倶楽部 080-3484-4197	中地域防災センター	長藤：事前予約要、資料代 100 円、次回 7
F	4/?	14:00~16:00	介護者支援講座「仕事と介護両立のポイント～あなたが介護離職しないために～」	地域包括支援センター	市役所第 1・2 会議室	地域包括支援センター：576-2123 / 20 名申し込み先着順
C	6/予定	13:30~15:00	第 44 回陽だまりの会グループ討議他	地域包括支援センター	未定	地域包括支援センター：576-2123
C	未定	13:30~16:00	なつかしのフィルム映画上映会	元気会	東福祉館	社会福祉協議会：飯田 580-2123 予約申込 20 名
B	未定 世話人のみ	10:00~12:00	西のまち会議	くにたちの西がいちばん！PJ	西福祉館	社会福祉協議会：580-0294
B	再開未定 第 2 木曜	12:00~14:00	西の食卓	くにたちの西がいちばん！PJ	西福祉館	社会福祉協議会：580-0294 参加費 100 円昼食持参
B	未定	10:00~11:30	月例	ゆる仲の会	中地域防災センター	河村・酒向：576-0939 昼食有料、マスク着用、飲料持参
B, C, E	再開未定 毎火、木曜	10:00~17:00	矢川サロン (介護生活予防)	呼ぼう会	矢川北団地第 2 集会所	門前：080-6810-6104
B	再開未定 第 4 火曜日	18:00~20:30	飲みニケーション会	中の会	Daimo576-4281	吉田：090-3508-3641
B, C	再開未定	13:00~16:00	みんなの部屋(習字, 手芸, 麻雀, 他)	えんがわ・あい	東 1-16-27	丹波 090-3247-8848 利用料 100 円
B	再開未定	13:00~18:00	サロンえんがわ 食事とお喋りの会	みんなの部屋【あい】	東 1-16-27	矢崎：090-327-8848
F	再開未定	11:00~12:30	うたごえ倶楽部	カサムシカ	カサムシカ	辰田：080-5878-2364 有料
F	再開未定	11:00~12:30	サロンコンサート	カサムシカ	カサムシカ	辰田：080-5878-2364 有料
B	再開未定	17:00~19:00	にぎわい夕餉の会	カサムシカ	カサムシカ	辰田：080-5878-2364 有料
B, C	再開未定	10:00~14:00	歌・体操・食事会 他	シニアプレイルーム	富士見台第 3 団地集会所	田村・富田：574-7463、毎月最終月曜、申込要

市の説明会・公聴会 (変更もあるので、傍聴時間は、HP などで確認してください)

未定	未定	国立市介護保険運営協議会	書面開催予定	事務局：高齢者支援課
4/14(水)	19~21:00	国立地域保健福祉施策推進協議会	市役所	社会福祉課

きずな折込川柳 お題 4月(朧・おぼろ) 5月(長閑・のどか) 選 明石秀雄

お上だけ 暴飲接待 論外だ (明石)	溺れない 僕らが救う 論よりも (大井)
老いたれど 僕の心に ロマン有り (明石)	俺の道 ぼやぼやせずに 櫓を漕いで (大井)
俺の靴 ボロボロだけど ロンドン製 (明石)	おのがみち ぼけずに過ごせ 露命つげ (大井)
落ちぶれて ぼんやりさまよう 路地の裏 (今村)	おもしろく ボケと突っ込み 老人会 (宮武)
老いては子 ボケたら施設に 櫓をまかせ (今村)	朧月 ぼんやり見える 老眼鏡 (宮武)
お母さん ボケずわきまえず 論を張る (今村)	

「絆だより」は次の場所においてあります。情報内容についてのご要望もお待ちしています。

市役所高齢者支援課、福祉会館(1F、2F、なごみ)、西福祉館、東福祉館、北福祉館、南区公会堂、南市民プラザ、北市民プラザ、公民館、中央図書館、ひらや照らす、芸小ホール、KF まちかどホール 他
バックナンバーは中央図書館、公民館、ひらや照らす、くにたち郷土文化館に、置いてあります。FBでも閲覧できます。

各団体の活動、発行定期冊子も逐次紹介致します。情報をお待ちしています。

